



佐藤 富夫 議員

- 1、本市の内部統制の在り方を問う
- 2、保育施設の待機児童対策を問う

Q 自治法の改正により地方自治体の内部統制の方針を定めるように義務づけられた。本市は、旧町時代より様々な職員の不祥事は、絶え間なく続いている。民間では会社法等により何10年も前から整備されており公務員は遅い。これらにより、法律で義務付けし最小の経費で

最大の効果を上げ行政リスク（危険）を極力少なくするものである。
 ①当局は、その意義をどのように受け止めるか。
 ②H27年8月、野蒜小学校建築工事請負契約の議事決がなかった。理由は事務調整の不備、いわゆる内部統制の緩み。どのように検証したか。
 ③人事管理も統制の一つ。

長期に長時間の残業は労働基準法違反の疑いがあり、健康上の問題ある。
A 市長 ①議員の言うとおりである。体制整備を進める。
 ②十分反省している。関係法令・規定に基づき、運用を研究して行く。
 ③好ましくはない。超過勤務の平準化をしたい。

Q 市役所の内部統制の在り方は

A 法により体制整備を行う



▲新鳴瀬未来中学校は、野蒜中下地区に急ピッチで建設中



滝 健一 議員

- 1、市営墓地の建設に着手を
- 2、子供のいじめ問題と教育環境の整備策について

Q 子供のいじめと教育環境の整備

A 危機感をもって対処に努める

Q ①東松島市内小中学校のいじめ問題等の実態は。
 ②本市誕生から今日までのいじめの質の変貌は。
 ③仙台市の自殺問題をどのように分析するか。
 ④教育環境の整備についての考えを伺う。
 ⑤鳴瀬未来中と鳴瀬桜華小学校舎移転後の活用は。

A 教育長 ①今年度4月から7月までのいじめ認知件数は小学校133件、中学校18件である。最も重視される重大事案は1件もなかった。しかし、常にいじめは存在するという危機感をもって、防止に努める。
 ②ここ数年、パソコン、携帯電話、スマートフォン等の普及で、ネット上のトラブルが多い。
 ③実態把握や教師の暴言や体罰など、本市に置き換えた検討が必要だ。
 ④東松島市公共施設等総合管理計画書アクションプランに基づき行なう。
 ⑤市長 地域活性化に資する活用を検討すべきで、教育委員会や地域の皆様と活用等を検討していくので協力を願う。



▲早急な体制整備を求む